



☆どうぞご自由にお持ち帰りください☆

珍しい雪のない暖冬でスタートした令和2年です。今話題の新型コロナウイルス感染症について解説しましょう。

○新型コロナウイルスとは

マスクで連日の報道がなされていますので、おおむねの状況は、皆さん把握されていると思います。コロナウイルスは、もともと風邪ウイルスの一つで上気道炎（咽頭痛、鼻水、咳など）を引き起こします。今回の新型の場合は、非常に重症の肺炎を起こすことが分かりました。

同様のコロナウイルスに過去、2002年 SARS が中国南部を中心に、また2012年 MERS が中東各国、2015年に韓国で数百人の死者を出しました。日本では、水際対策が奏功したのか幸い感染者は出ていません。

今回の新型コロナウイルスは、規模も感染力も前例の比ではなく10倍以上の規模となっています。新型コロナウイルスは、多くの人に感染しやすい状態になっていますが、インフルエンザウイルスほどではありません。致死率は3%前後で、これはインフルエンザより高いです。60歳以上、糖尿病心臓病などの疾患がある場合が多いと言われています。

○感染の拡大

感染初期の対応の失敗が取りざたされていますが、中国の病院は感染対策ができておらず、隔離もしてなかったようです。中国で収束の目処は立っていません。（次のページに続く）



♪糖尿病教室♪ ※糖尿病以外の方、ご家族も大歓迎です。

2月12日（水）冬のフットケア 乾燥から足をまもろう 日本糖尿病療養指導士：松田眞理子
時間：16:30～17:30 場所：真生会富山病院 本館3階 わかば病棟カンファレンス室

2月26日（水）糖尿病と歯周病 日本糖尿病療養指導士：今城都志枝
時間：16:30～17:30 場所：真生会富山病院 本館3階 わかば病棟カンファレンス室

♪アラカンカフェ（男性の定年後の生活を考える集まり。予約不要でどなたでもご参加いただけます。）♪

2月22日（土）16:00～17:00 場所：真生会富山病院 管理棟2階 中会議室
演題：2周目の人生を楽しむには

♪健康ワンポイント教室♪

2月26日（水）15:00～15:30 場所：真生会富山病院 総合受付前（本館1階）
テーマ：シックディ ～糖尿病の方が体調を崩してしまったら～
講師：宮本晴江（日本糖尿病療養指導士）、劇団 TIPS

2009年のパンデミック豚インフルエンザの時は、水際で過剰な対策をしたと日本は批判されましたが、それにもかかわらず、国内で2000万人の感染者となりました。しかも、ワクチン、タミフルがあったにもかかわらずです。(毎年、2000万人がインフルエンザに感染しています。)

今回の場合は、ワクチンはなし、治療薬も現時点ではありません。治験中のものはあるようですので早めに使用できるかもしれません。大きく二つのシナリオが考えられます。2009年のインフルエンザの時のように国内の感染拡大を予防できない場合は、感染者が1万人を超えて死亡も100人くらい出る可能性があります。

もう一つは、水際で食い止める可能性があります。感染力はインフルエンザより弱いので、感染者を隔離すればアウトブレイクは防げる可能性はあります。すでに国内にウイルスは入っています。不顕性感染者の一部から広がっていると考えられます。今後国内のどこで、次の症例が発症するかでまた動向が変わってくると思います。

○感染を予防するには

感染予防で最も大事なものは、接触感染予防です。手洗いとマスクです。マスクは通常のマスクで感染の拡大を防ぐ効果があります。2009年のインフルエンザの時は、都会ではみなマスクをしているので、感染拡大を防ぐ効果があったと言われています。人ごみに出る際はマスクを着用しましょう。インフルエンザと同様に新型コロナウイルスも、感染していても元気に動き回って、周囲に感染を広げるスーパープレッダーと言われる人が存在すると言われています。そのような人からの感染を予防するには、マスク着用は効果があると考えられます。

現時点ではコロナウイルスを適切に検出できる検査は、DNA検査のみであり、すぐ結果は出ません。インフルエンザのように簡単にキットで検査できるようになって初めてインフルエンザ感染の実態が分かった面もあります。今後、検査がより簡単に行えるようになれば、その脅威も弱まるでしょう。



<お近くのクリニックに通院していただけます>

厚生労働省は、病状が安定した方にはクリニックなど「かかりつけ医」での治療を推奨しております。「真生会まで遠い中來ている」「薬をもらうだけなのに待ち時間が長い」と通院にご負担を感じておられる方はお住まいの地域の医療機関にご紹介(逆紹介)させていただくことが可能です。真生会富山病院は地域の先生方と協力し「地域と連携する医療」を提供したいと考えております。逆紹介のご要望は主治医や近くのスタッフにお申し出ください。